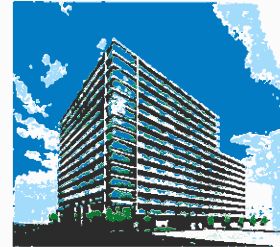


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 |使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ジオ阪急洛西口ノースレジデンス	階数	地上15F
建設地	向日市寺戸町七ノ坪100番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	920 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年3月28日
敷地面積	6,324 m ²	作成者	竹中工務店 大松
建築面積	1,835 m ²	確認者	
延床面積	20,222 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 71%

③上記+②以外の: 71%

④上記+: 71%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物利用者の快適な生活環境を維持する為、遮音性や断熱性を高めると共に環境への配慮として、省エネルギー性を高めた建物とした。また周辺地域へ悪影響がないように外装にも配慮し、敷地内にはできる限りの緑化を計画した。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
隣戸間における生活騒音の配慮として、開口部と床遮音性能を高めている。	情報通信社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう、大容量ブロードバンドを敷けている。	周辺環境に合わせて外装材を選定し、できる限りの緑化を敷けている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光発電を利用した計画を採用している。	節水型衛生設備を採用している。	周辺環境に配慮し、適切な量の自転車置場・駐車スペースを確保している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される